

# 【2年生対象】H30 医学科座談会

## 1 目的

医学部医学科に進学した卒業生から、高校在学中の勉強法や進路実現に向けた取り組み、大学生活について具体的な話を聞くことで、今後の学習に生かす。

## 2 実施日時

平成30年10月26日（金） 16:40～

## 3 講師

勝尾 彬（かつお あきら）さん 福井大学医学部医学科 6年生

## 4 座談会の様子



医学科の教科書を見て、ただただ口が開くばかりでした。勉強量がものすごいとは知っていても、その想像をはるかに超える量でした。テストはページ指定でなく、一冊単位で出され、テストの種類も多いことには驚かされました。しかし、人の命を預かるのだから当たり前とも思いました。今この高2の段階で壁にぶつかっているようでは到底無理だと思い、現実を突きつけられた思いです。さらにコミュニケーション能力に関して、今のままでは全然ダメなんだろうなと実感しました。

逆に、少しだけ自信があるのは素直なところですが、自分の間違いを人に指摘されたときにそれを認めるということ聞き入れることができます。「でも」ということがほとんどありません。

医学科への道のりは遠いけど、だからこそやる気が出ました。今から目標を達成できるように、コツコツと努力を積み重ねていきたいです。

この座談会に参加する前は「医学部＝忙しい」としか答えられなかったが、そのイメージは当たっていて、さらにそのイメージを超えるほどの忙しさであることが分かりました。しかし、その忙しさの先に自分の目標があるということにさらに実感できた気がします。

病院の研修医として全ての科をまわるといえるのは、自分が所属したい科を選ぶのに非常に重要になってくるので安心しました。

今回のお話の中で強く感じたのが、ただ頭が良いだけではなく、そのことを前提とした上で身体的・精神的にタフで、尚且つコミュニケーション能力が必要であるということです。患者が「どこがどのように痛むのか」ということを細かく聞き出し、それに最適な治療法を提示するということは、簡単に見えて実はとても難しいことであると、実際に診察の体験をさせてもらった時に感じました。

今回改めて医師という仕事の大変さを知り、改めて医学科進学への思いが強くなりました。

